



不祥事根絶のための行動計画

求められる教職員像

○ 服務規律を遵守し、信頼される教職員 ○ 子どもの力を伸ばす教職員 ○ 授業改善・授業力向上に努める教職員

決意表明

○ 私たちは、子どもを守り育てます。 ○ 私たちは、法令を遵守します。
○ 私たちは、不祥事を許しません ○ 私たちは、地域に開かれた学校にします。

呉市立白岳小学校

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識・倫理観の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人情報等の管理、情報セキュリティに対する甘さがある。 ○ 研修において、当事者意識を持って取り組む姿勢にまだ課題がある。 ○ 熱心な教職員は多いが、帰宅時間もかなり遅い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服務規律等の研修の時期、方法、内容の工夫と改善を図り、当事者意識を持って取り組める研修にしていく。 ○ 計画的に業務を行い、常に進捗状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画されている服務研修を確実に進行。 ○ 研修は管理職が担当するのではなく、教職員が主体的に取り組めるように分担をする。 ○ 入退校時刻を意識して業務できるよう、声かけを行うとともに、黒板の日程表に本日の退校時刻を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服務研修の改善のための事後アンケートを行う。 ○ 個人情報管理簿等の点検を週1回定期的に行う。 ○ 月に1度、入退校時刻の個人票や学校平均を提示し確認する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともすれば教職員個人の技量に依存しがちである。 ○ 全教職員での情報共有が十分にはできていないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員がチーム(特に分掌部、学年)で仕事を進めていく意識をもち、更なる協力体制を構築する。 ○ 「ほめる、認める文化」を醸成する。 ○ 報告・連絡・相談・確認を徹底し、情報の共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分掌会や学年会を定例化し、大規模校のメリットを生かし、学年での仕事の分担を行うよう指導・助言する。 ○ 管理職から率先して教職員に声かけをし、模範になる活動等に感謝の思いを伝える。 ○ 「報告・連絡・相談・確認」を合言葉に意識を高め、確実に報告、連絡、相談及び確認を行う。 ○ 生徒指導主事や学年主任等、主任層が進捗状況及び報告をしっかりと行うよう意識付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月に1度、不祥事防止委員会や及び当該委員会による校内巡視、生徒指導・特別支援教育推進委員会、学年主任会で情報交換を行い、取組状況を把握する。 ○ 金曜日の暮会等で教職員に周知する。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「体罰・セクハラ相談窓口」を「ふれあい相談日」として設定している。相談内容について学校だより「白岳の風」で知らせているが、認知度が低い。 ○ 相談件数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「体罰・セクハラ相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 ○ いつでも相談できる環境を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校だよりにより保護者に周知するとともに、すべての教室にポスターを掲示し、担当の職員を明示する。 ○ 児童がいつでも相談できるよう声かけをしていく。 ○ 教職員については、面談等も活用し、相談を受け付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談窓口の周知について、学期末にアンケートを実施する。(年3回) ○ 相談内容について記録を作成する。